

# 青森県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項

青森県教育委員会

受付期間	平成22年5月6日(木)～平成22年5月24日(月)(土曜日・日曜日を除く。) ※郵送の場合は、平成22年5月24日(月)の消印のあるものまで有効です。
第一次試験	平成22年7月25日(日)～平成22年7月26日(月)
第二次試験	平成22年9月25日(土)～平成22年9月26日(日)

## I 選考方針

青森県公立学校の教員として求めるものは、広い教養、充実した指導力、心身の健康、教育者としての使命感・意欲、組織の一員としての自覚・協調性、児童生徒に対する深い教育的愛情等、教員としての資質・能力・適性を有することはもちろん、得意分野をもつ個性豊かで人間性あふれる人材です。

このような人材を教員として採用することを目的として、筆記試験・集団討論・実技試験・面接・小論文等を実施し、選考基準を定め選考を行います。

## II 校種、教科(科目)及び採用見込数等

選考試験は、**一般選考**と**特別選考**(スポーツ、身体障害者、社会人)で行います。**中学校、高等学校及び特別支援学校(中学部・高等部)教諭**については、下記の教科(科目)を募集します。受験資格を有する者は、いずれか一つの校種等・教科(科目)に限って出願できますが、一般選考と特別選考の併願及び特別選考の2つ以上の区分の併願はできません。

なお、特別選考の詳細については、5ページのⅥの特別選考をご覧ください。

校種等	教科(科目)		採用見込数
小学校教諭			約30人
中学校教諭	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語		約50人
高等学校教諭	国語、公民、地理歴史、数学、物理、化学、生物、地学、美術、保健体育、家庭、英語、商業、農業(作物・園芸・農業経済)、工業(電気・電子)、工業(土木)、工業(機械・電子機械)、水産(水産食品)、水産(海洋生産)、水産(水産工学)、看護		約70人
特別支援学校教諭	小学部		約35人
	中学部	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	
	高等部	国語、数学、音楽、美術、保健体育、家庭、英語	
養護教諭			約15人

注) 特別選考の採用見込数はそれぞれの区分について若干名を予定していますが、上記の採用見込数に含まれます。

## III 受験資格

- 1 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の各号に該当しない者
- 2 昭和35年4月2日以降に生まれた者(ただし、現に国立学校又は公立学校の教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手又は寄宿舎指導員(臨時の者は除く。)である者については、年齢は制限しません。)
- 3 受験する校種等及び教科(科目)に相当する教育職員免許法に規定する普通免許状を有する者又は平成23年4月1日までに当該普通免許状を取得する見込みの者

注) 1 特別支援学校受験者については、小・中・高各相当の校種・教科(科目)の普通免許状を有する者(特別支援学校教諭免許状の有無を問いません。)

2 高等学校家庭については、「家庭」の高等学校教諭普通免許状を有する者又は平成23年4月1日までに当該普通免許状を取得する見込みの者であり、かつ、調理師の資格を有する者又は平成23年4月1日までに当該資格を取得する見込みの者

3 水産(水産食品)、水産(海洋生産)については、「水産」の高等学校教諭普通免許状、水産(水産工学)については、「商船」の高等学校教諭普通免許状を有する者

4 社会人特別選考については、Ⅵ-1の表に掲げる受験資格を満たしている場合、当該普通免許状を有しなくても受験できます。

5 日本国籍を有しない者は、任用の期限を付さない常勤講師となります。

## Ⅳ 出 願 方 法

- 1 願書の受付 ・受付期間 平成22年5月6日(木)～5月24日(月) (土曜日・日曜日を除く)。  
・受付時間 午前9時～午後5時15分

※郵送の場合は、平成22年5月24日(月)の消印のあるものまで有効です。

なお、5月17日以降の郵送は速達にしてください。

また、封筒の表に一般選考出願者は「教願」、特別選考出願者は「特別選考・教願」と朱書きしてください。

### 2 出願先・問い合わせ先

出願する校種等	出 願 先 ・ 問 い 合 わ せ 先	電 話 番 号	住 所
小 学 校 教 諭	青森県教育庁教職員課 小中学校人事グループ	017-734-9894	〒030-8540 青森市新町二丁目3番1号
中 学 校 教 諭			
養 護 教 諭			
特別選考(全校種)			
高 等 学 校 教 諭	青森県教育庁教職員課 高等学校人事・改革グループ	017-734-9881	
特別支援学校教諭	青森県教育庁学校教育課 特別支援教育推進室	017-734-9882	

### 3 出願書類

出願者は、次の書類を番号順に一括して提出(持参又は郵送)してください。

- (1) 受験願書(横3.5cm×縦4.5cmの**写真1枚**を所定の箇所に必ずはること。)
- (2) 受験票等(横3.5cm×縦4.5cmの**写真1枚**及び**50円切手2枚**を所定の箇所に必ずはること。)
- (3) 最終卒業(修了)学校の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書
- (4) 最終卒業学校(卒業見込みを含む。)の成績証明書
- (5) 大学の専攻科及び大学院修了者(修了予定者を含む。)は、**それらの成績証明書も併せて提出してください。**
- (6) 教員免許状のコピー(A4判)、教員免許状授与証明書又は在学中の大学が発行する教員免許状取得見込証明書(社会人特別選考受験者で教員免許状を有しない者を除く。)
- (7) 登録票(別紙)
- (8) 面接調書(別紙)
- (9) 試験結果通知用封筒1部
  - ① 大きさは定形郵便用**長形3号**(A4・横三ツ折・120mm×235mm)とし、必ず「**のりつき封筒**」(両面テープをちょう付したのも可)を提出すること。
  - ② **80円切手**をはり、郵便番号・住所・氏名(「様」も記入すること)を明記すること。
  - ③ 封筒の表に「**親展**」を**朱書き**し、左下に受験校種・教科(科目)を必ず記入すること。
- (10) 当該受験校種・教科の教員免許状を聴講・通信教育で取得した者は、**それらの成績証明書も併せて提出してください。**
- (11) 聴講・通信教育を受けていて教員免許状取得見込証明書を提出できない者は、**受講証明書(届)又は学習状況一覧表等を提出してください。**
- (12) 改姓等により、卒業証明書及び教員免許状等と氏名が異なる場合は、戸籍抄本を提出してください。
- (13) **高等学校家庭を受験する者については、調理師の資格を有することの証明書類又は資格取得見込証明書を提出してください。**

※その他、必要に応じて関係書類等の提出を求めることがあります。

### 4 留意事項

- (1) 校種・教科(科目)の併願又は出願後の変更は認めません。
- (2) いかなる理由があっても出願書類は返却しません。

### 5 受験票の交付等

第一次試験受験票は、願書受付期間終了後整理し、受験番号・受験会場等を記入して、7月2日(金)までに到着するよう発送します。なお、到着しない場合は、上記2の「出願先・問い合わせ先」まで連絡してください。

## V 一般選考試験の内容

### 1 第一次試験

(1) 試験日 平成22年7月25日(日)～7月26日(月)

(2) 試験会場 第1会場 青森県立青森中央高等学校(青森市東大野一丁目22-1)  
 第2会場 青森県立青森商業高等学校(青森市東造道一丁目6-1)  
 第3会場 青森県立青森工業高等学校(青森市篠田三丁目16-1)

(3) 試験の内容

#### ① 筆記試験

ア 一般・教職教養試験……一般教養及び教職教養における知識、理解力、思考力等に関する資料を得るため、一般・教職教養試験を行う。

イ 専門教科試験……受験校種・教科(科目)の教諭又は養護教諭として必要な知識、理解力、思考力等に関する資料を得るため、専門教科試験を行う。

② 集団討論……資質・能力・適性等に関する資料を得るため、与えられたテーマについて、個人の意見発表と集団討論を行う。

③ 実技試験……教科の技能に関する資料を得るため、第一次試験では水泳の実技試験を行う。(他の実技試験は、第二次試験で実施する。)

(4) 日程

日時	7月25日(日)					7月26日(月)		
	9:55 ～ 10:25	10:50 ～ 11:50	11:50 ～ 12:40	12:40 ～ 14:10	14:30 ～ 15:45	9:00 ～ 17:00		
校種等								
小学校	一般・ 教職 教養		昼  食	教科		集 団 討 論	実技試験(水泳) クロール又は平泳ぎの いずれかの泳法で25m	
中学校				国・社・ 算・理	生活・音・ 図・家・体			
高等学校				教科				
特別支援 学校				小・中・高と同じ				中・高保体のみ 実技試験(水泳) 当日指定された泳法 2種目を25mずつ
養護教諭				特別支援教育 に関する事項	養護一般			小・中・高と同じ

(5) 留意事項

① 7月25日は、**各自の試験開始15分前**(特別支援学校教諭出願者は9時40分、それ以外の出願者は10時35分)までに試験室に入室してください。

② 7月26日の日程等は、25日に会場及び各試験室に掲示するので注意してください。

③ 一般・教職教養試験問題及び専門教科試験問題は持ち帰りとし、また、平成22年8月下旬に解答と併せて青森県教育委員会ホームページ(<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/kyousai.html>)に公開します。

④ 現に本県公立学校の教諭及び養護教諭である者については、一般・教職教養試験を免除します。7月25日は、特別支援学校教諭出願者は9時40分、それ以外の出願者は12時25分までに試験室に入室してください。

(6) 当日持参すべき物

① 受験票 ② 筆記用具 ③ 定規、コンパス ④ 上履・靴袋 ⑤ 昼食

⑥ 実技用具

小学校、中・高保体(それぞれ特別支援学校含む)……水泳着、水泳帽、ゴーグル(必要な方のみ)、バスタオル

(7) 結果の通知

平成22年9月上旬に各受験者あて通知し、青森県教育委員会のホームページにも第二次試験受験対象者の受験番号を掲載します。

なお、筆記試験の得点、受験校種・教科(科目)ごとの筆記試験及び集団討論のそれぞれのランク並びに総合ランクを各受験者あて通知に記載するため、試験結果の口頭による開示は行いません。

2 第二次試験

- (1) 試験日 平成22年9月25日(土)～9月26日(日)  
 (2) 試験会場 第1会場 青森県立青森中央高等学校 (青森市東大野一丁目22-1)  
 第2会場 青森県立青森北高等学校 (青森市羽白字富田80-7)

(3) 試験の内容

- ① 面接……資質・能力・適性等に関する資料を得るため、模擬授業（小学校及び特別支援学校（小学部）においては、英語での簡易な自己紹介を含む。）・個人面接を行う。  
 ② 適性検査……適性に関する資料を得るため、作業検査法及び質問紙法による性格検査を行う。  
 （現に本県公立学校の教諭及び養護教諭である者については適性検査を免除する。）  
 ③ 小論文……資質・能力・適性等に関する資料を得るため、受験者に共通の課題を課して論述させる。  
 ④ 実技試験……教科の技能に関する資料を得るため、実技試験を行う。

校種等	実 技 試 験				
小学校	模 擬 授 業 ・ 個 人 面 接	適 性 検 査 （ 作 業 検 査 法 ）	適 性 検 査 （ 質 問 紙 法 ）	小 音 楽	小学校音楽教科書（第5・第6学年）に掲載されている次の曲の中から1曲を選択し、オルガン（電動式）で主旋律に平易な伴奏をつけて、歌いながら演奏する。（前奏も行う。なお、楽譜は各自が持参すること。） ・こいのぼり ・子もり歌 ・スキーの歌 ・冬げしき ・越天楽今様 ・おぼろ月夜 ・ふるさと ・われは海の子
				体 育	体づくり運動、器械運動
中 学 校 高 等 学 校				音 楽	ピアノ演奏（自由曲1曲を暗譜で演奏する。ただし、楽譜は持参すること。）、歌唱（曲目は当日指定する。）、旋律聴音
				美 術	デッサン（四つ切り画用紙使用）
				保 健 体 育	体づくり運動、器械運動、球技、ダンス、柔道及び剣道
				家 庭	被服（手縫い及びミシン縫いによる被服製作） 食物（日常食の調理）
特 別 支 援 学 校		英 語	リスニング、スピーキング、リーディング		
養護教諭				小・中・高と同じ	

(4) 当日持参すべき物

- ① 受験票 ② 筆記用具 ③ 適性検査で使用するHBの鉛筆3本以上 ④ 上履・靴袋  
 ⑤ 昼食 ⑥ 実技用具

ア 小学校・特別支援学校（小学部）

- ・音楽……楽譜（1部）
- ・体育……運動できる服装（20cm×20cmの大きさの白布に受験番号を黒のマジックで記入し、胸と背に縫いつけたもの）、運動靴（屋内用）、短なわ（なわとび用）

イ 中学校・高等学校・特別支援学校（中学部・高等部）

- ・音楽（中学校、特別支援学校（中学部・高等部））……楽譜（3部）
- ・美術（全校種）……デッサンに必要な鉛筆等
- ・保健体育（全校種）……運動できる服装（20cm×20cmの大きさの白布に受験番号を黒のマジックで記入し、胸と背に縫いつけたもの）、運動靴（屋内用）、柔道衣、手ぬぐい（剣道用）なお、剣道具は貸与するが、持参してもよい。
- ・家庭（全校種）……白衣又はかっぽう着、三角きん、手ふき（被服実技試験では、会場で用意した裁縫用具を使用すること。）

(5) 結果の通知

平成22年10月下旬に第二次試験受験者あて通知し、青森県教育委員会のホームページにも採用候補者の受験番号を掲載します。

なお、受験校種・教科（科目）ごとの面接（模擬授業・個人面接）、小論文及び実技試験のそれぞれのランク並びに総合ランクを各受験者あて通知に記載するため、試験結果の口頭による開示は行いません。

## Ⅵ 特別選考

### 1 受験資格等

特別選考は次の区分・校種等・教科(科目)において実施します。

なお、Ⅲの受験資格に加え、次の受験資格を満たす者が受験できます。

区 分	校 種 等	教科(科目)	受 験 資 格
ス ポ ー ツ 特 別 選 考	一般選考 と同じ	一般選考 と同じ	スポーツの分野において、平成17年4月1日以降、国際的又は全国的規模の競技会等で、特別に優秀な実績を有する者(例えば、オリンピック大会・アジア大会等に日本代表として出場した者、又は日本選手権大会あるいはこれに準ずる大会において上位入賞の実績を有する者等)
身体障害者 特 別 選 考	一般選考 と同じ	一般選考 と同じ	身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条に規定する身体障害者手帳(1級から6級まで)の交付を受けている者で、かつ、介助者なしに教員としての職務の遂行が可能である者
社 会 人 特 別 選 考	高等学校 教 諭	英語  水産(海洋生産)  水産(水産工学)	<ol style="list-style-type: none"> <li>出願時に民間企業等(私立学校教員や専門学校講師などとして教育に関連する事業等に従事する者を除く。)に、正職員として5年間以上の勤務経験を有する者</li> <li>出願時に以下の資格等を有する者 <ol style="list-style-type: none"> <li>高等学校英語の受験者 実用英語技能検定試験1級、TOEIC 860点以上、TOEFL 600点以上のいずれか</li> <li>高等学校水産(海洋生産)の受験者 三級海技士(航海)の海技免状</li> <li>高等学校水産(水産工学)の受験者 三級海技士(機関)の海技免状</li> </ol> </li> <li>受験する教科(科目)に相当する高等学校教諭普通免許状を有しない場合は、上記1、2に加え、出願時に以下の要件を満たす者 <ol style="list-style-type: none"> <li>高等学校英語の受験者 5年間以上英語に関連する業務又は英語を使用する業務の実務経験を有すること</li> <li>高等学校水産(海洋生産)及び高等学校水産(水産工学)の受験者 5年間以上漁船又は商船の乗船履歴を有すること</li> </ol> </li> </ol>

注)上記の受験資格(社会人特別選考の受験資格3に該当する場合を除きます。)を満たす場合でも、特別選考によらず、一般選考により受験することもできます。

### 2 出願方法

Ⅳに示したとおりとします。

なお、Ⅳ-3の出願書類の他に、次の書類を提出してください。

また、スポーツ特別選考調書及び身体障害者特別選考調書は、青森県教育委員会ホームページ(<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/kyousai.html>)からダウンロードするか、Ⅳ-2の小中学校人事グループに電話等で申し出て取り寄せてください。

区 分	Ⅳ-3 の 出 願 書 類 の 他 に 提 出 す る 書 類
ス ポ ー ツ 特 別 選 考	<ol style="list-style-type: none"> <li>スポーツ特別選考調書</li> <li>書類審査結果通知用封筒1部 Ⅳ-3(9)と同様の封筒を、試験結果通知用封筒とあわせて合計2部提出すること。</li> <li>実績証明書(客観的に実績を証明できるもの、例えば賞状や新聞記事の写し、団体競技の場合はメンバー表等) ※ 実績証明書はA4判とします。 (A4判以外のものについては、拡大又は縮小して提出してください。)</li> </ol>
身体障害者 特 別 選 考	身体障害者特別選考調書 (身体障害者手帳の写しをちょう付すること。)
社 会 人 特 別 選 考	資格証明書の写し (たとえば、実用英語検定試験合格証明書、TOEICやTOEFLのスコアシート、三級海技士の海技免状等の写し) ※ 資格証明書の写しはA4判とします。 (A4判以外のものについては、拡大又は縮小して提出してください。)

### 3 選考試験の内容

次に示す事項以外は、Vの一般選考試験の内容に示したとおりとします。

#### (1) スポーツ特別選考

区 分	書 類 審 査	面 接 審 査	最 終 選 考
			平成22年6月13日（日）
ス ポー ツ 特 別 選 考	<p>スポーツの分野において特別に優秀な実績を有する者であるかなど、出願書類により審査します。</p> <p>書類審査の結果は、平成22年6月上旬に各出願者あて通知します。</p>	<p><b>書類審査の結果、面接審査対象者となった者</b>について、スポーツの分野において特別に優秀な実績を有する者であるかなどについて確認するとともに、資質・能力・適性等に関する資料を得るため、面接審査を行います。</p> <p>面接審査の結果は、平成22年7月上旬に各面接審査対象者あて通知します。</p>	<p><b>面接審査の結果、最終選考の対象となった者</b>について、一般選考の第二次試験と同じ内容の試験を行います。</p> <p>なお、小学校受験者は体育実技を、中学校又は高等学校「保健体育」の受験者は実技試験の全部を免除します。</p>

注) 書類審査の結果、面接審査の対象とならなかった者又は面接審査の結果、最終選考の対象とならなかった者は、一般選考の第一次試験を受験することができますので、「第一次試験受験票」を7月2日(金)までに到着するように発送します。

#### (2) 身体障害者特別選考及び社会人特別選考

区 分	第 一 次 試 験	第 二 次 試 験
身体障害者 特 別 選 考	一般選考と同様ですが、障害の種類や程度に応じた配慮をするとともに、必要に応じて適性検査、実技試験等の一部若しくは全部を免除し、又はその内容等を変更します。	
社 会 人 特 別 選 考	<p>7月25日に個人面接を実施します。</p> <p>当日は、12時25分までに試験室に入室してください。</p> <p>なお、7月26日の試験はありません。</p>	一般選考と同じ

### 4 受験票の交付及び結果の通知

受験票の交付、第一次試験、第二次試験及びスポーツ特別選考の最終選考の結果の通知は、一般選考と同様です。

### 5 留意事項

- (1) 不明な点については、IV-2の「出願先・問い合わせ先」まで連絡してください。
- (2) 社会人特別選考出願者は、第二次試験受験時に次の書類を提出する必要があります。
  - ① 職歴証明書（第二次試験受験対象者に送付します。）
  - ② 船員手帳の乗船履歴部分の写し等、乗船履歴を証明できるもの  
（高等学校水産（海洋生産）及び水産（水産工学）出願者のみ）
- (3) 社会人特別選考出願者で受験教科（科目）に相当する高等学校教諭普通免許状を有しない者は、第二次試験合格後に特別免許状の申請をし、取得する必要があります。

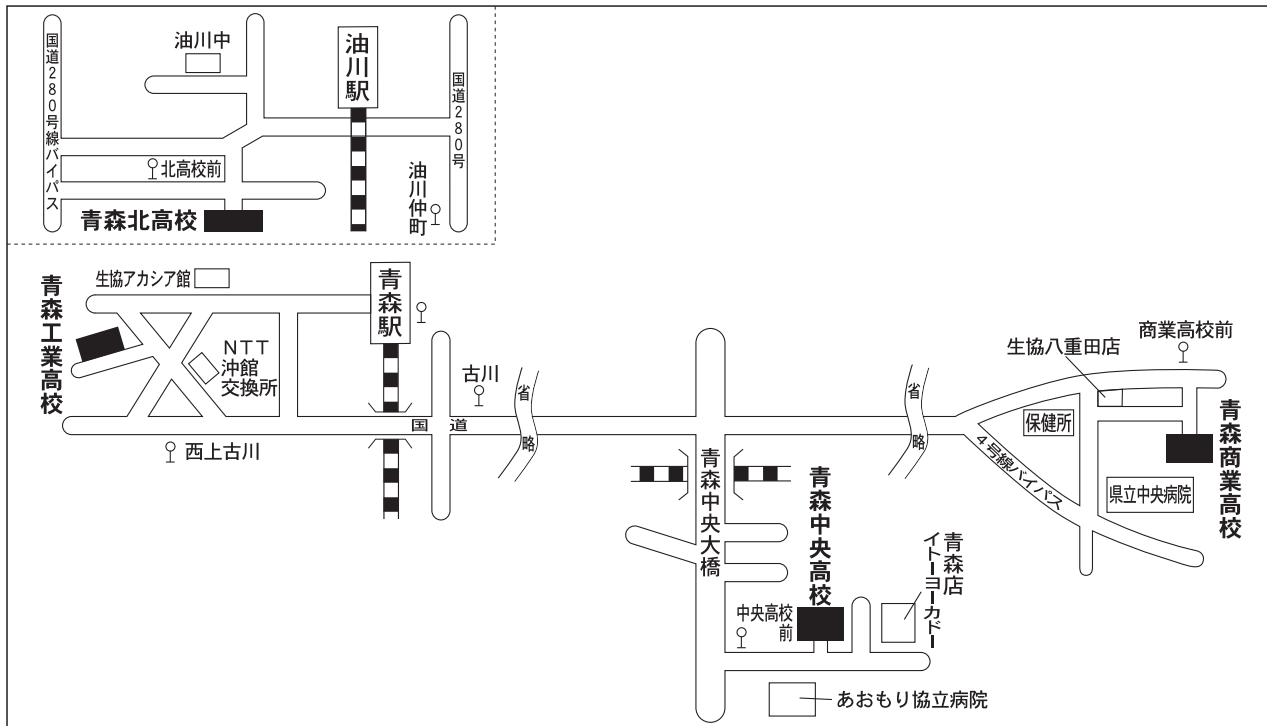
## VII 選 考 方 法

一般選考及び特別選考に関する事務を適正かつ円滑に行うための「選考委員会」を教育庁内に設置し、第一次試験及び第二次試験後に、選考を行います。

なお、第一次試験及び第二次試験のそれぞれについて、選考基準及び評価基準を青森県教育委員会ホームページ（<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/kyousai.html>）に公開します。

## Ⅷ 留意事項

- 1 身体等の事情により、受験に際して特に配慮を必要とする者は、出願時に電話、文書等で申し出て下さい。(身体障害者特別選考の出願者は、身体障害者特別選考調書により申し出て下さい。)
- 2 健康上の理由により、実技試験を受験できない者は、Ⅳ－２の問い合わせ先に文書で申し出て下さい。
- 3 会場敷地内は全面禁煙としますので、ご協力をお願いします。
- 4 **各試験会場及びその周辺への駐車は禁止(厳守)**するので、バス等の交通機関を利用してください。なお、試験当日は、混雑が予想されるので十分注意してください。
- 5 青森県教育委員会では、試験結果について、要項に定める受験者への通知及びホームページによる受験番号の公表以外は行いませんので留意願います。
- 6 試験会場までの案内図



- ※青森中央高校 JR東日本青森駅前から青森市営バス浜田循環線(南旭町経由又は八甲田大橋経由)中央高校前下車、徒歩3分
- 青森商業高校 JR東日本青森駅前から青森市営バス(保健所前経由又は県病経由)東部営業所行き商業高校前下車、徒歩3分
- 青森工業高校 JR東日本青森駅西口から徒歩15分
- 青森北高校 JR東日本油川駅から徒歩15分  
青森市営バス野木和団地行き北高校前下車、徒歩5分 油川仲町下車、徒歩15分

## Ⅸ 参考事項

- 1 昨年度実施した本県教員採用候補者選考試験の集団討論のテーマ等  
昨年度の第一次試験で実施した集団討論のテーマ(例)、第二次試験で実施した小論文の課題及び模擬授業の課題(例)を紹介します。
  - (1) 集団討論のテーマ(例)
    - ① 小学校と中学校の連携や中学校と高等学校の連携など校種間の連携が必要とされています。校種間の連携がなぜ必要なのか、話し合ってください。
    - ② 生徒一人一人の将来を見据えた「キャリア教育」を進めるために、どのように取り組むか、話し合ってください。
    - ③ 障害のある生徒の進路希望をかなえるために、担任としてどのように取り組むか、話し合ってください。
    - ④ 児童生徒の健康を保持増進するため、学校医との連携について話し合ってください。

(2) 小論文の課題

子どもたちが自分の夢や希望を実現していくためには、学校・家庭・地域社会において子どもたちの学びの意欲をはぐくむことが大切です。

あなたは、子どもたちの「学びたい」という意欲を、学校教育の中でどのようにして育てたいと考えるか。あなた自身のこれまでの経験を踏まえ、具体的に述べなさい。

(3) 模擬授業の課題（例）

- ① 新たに〇年1組の学級担任になりました。担任としてあいさつをしながら、こんな子どもになってほしいというあなたの願いを子どもたちに話してください。
- ② 生徒にとって最初の〇〇科の授業です。高校で〇〇科を学ぶ楽しさと意義を含めながら、1年間の授業計画を話してください。
- ③ 小学部〇学年の学級担任です。『朝の会の時間』に、児童一人一人が期待感を持って一日の学習ができるように、今日の学習の目標について話してください。
- ④ 『卒業後の生活』について授業を行います。生徒一人一人が卒業後の職業や生活について、目標を持つことができるように話してください。
- ⑤ 過換気症候群について話してください。

2 給 与

- (1) 初任給（給料+教職調整額+教員特別手当）  
（平成22年4月1日現在）

修 士	226,760円
大 学 卒	204,112円
短大卒（小・中学校）	178,444円
短大卒（県立学校）	176,052円

- (2) 各種手当… 通勤手当、扶養手当、住居手当、期末・勤勉手当等が給与条例に基づき支給されます。  
※特別支援学校に勤務する者には、特別支援教育手当が支給されます。

3 過去3年間の採用試験の状況（受験者数はスポーツ特別選考を除く。）

校 種 等	受 験 者 数			採 用 候 補 者 数			倍 率		
	20年度	21年度	22年度	20年度	21年度	22年度	20年度	21年度	22年度
小 学 校	694	650	579	32	33	23	21.7	19.7	25.2
中 学 校	700	642	603	39	41	41	17.9	15.7	14.7
高 等 学 校	520	513	565	26	32	71	20.0	16.0	8.0
特別支援学校	240	259	250	33	26	34	7.3	10.0	7.4
養 護 教 諭	111	115	107	9	13	13	12.3	8.8	8.2
合 計	2265	2179	2104	139	145	182	16.3	15.0	11.6

4 出願から採用までの流れ

- (1) 5月6日(木)・・・実施要項・願書配布開始
- (2) 5月24日(月)・・・願書受付締切（消印有効）
- (3) 7月25日(日)・26日(月)・・・第一次試験
- (4) 9月上旬・・・第一次試験結果通知
- (5) 9月25日(土)・26日(日)・・・第二次試験
- (6) 10月下旬・・・採用内定通知
- (7) 平成23年2月上旬・・・採用内定者面接
- (8) 平成23年4月1日・・・採用